ニュースリリース
報道関係者各位

2018年1月10日
十勝毎日新聞社

十勝毎日新聞社と米有力経済紙「ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）」がデジタル分野で提携

～勝毎電子版の契約でWSJオンラインの購読が可能に～

株式会社十勝毎日新聞社（本社・北海道帯広市、林浩史社長、以下「勝毎」）は2018年2月1日から、有料サイト「勝毎電子版」の利用者向けに、米経済紙「ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）」のオンラインコンテンツを、追加料金なしで閲覧できる新サービスを始めます。十勝地域の話題から世界のグローバル情報まで、勝毎電子版でアクセス可能な情報が大きく広がります。

WSJは米国最大の日刊ビジネス紙で、WSJオンラインは紙面に掲載される記事を編集し、24時間体制でアップデートしています。日本語版は、日本の読者に関係が深い金融、ビジネス、米国政治・経済の解説記事、最先端のIT・テクノロジーや世界各国のオピニオンリーダーからの寄稿記事などを紹介しているニュースサイトです。

勝毎とWSJを発行するダウ・ジョーンズ社は2017年12月、デジタル分野の提携について契約を結びました。ご利用方法は、勝毎電子版にログインした状態でWSJ特設ページにアクセスし、初回に氏名やメールアドレスなど個人設定の入力手続きを済ませると、特設ページ内で自由に閲覧できるようになります。日本版のほか、US版、中国語版などの閲覧も可能です。

勝毎電子版では新聞本紙の掲載記事に加え、電子版オリジナル記事や速報、動画、過去記事検索など豊富な情報を提供してきました。これにWSJが新たなコンテンツとして加わることで、十勝のビジネスパーソンをはじめとした幅広い利用者に、これまで以上にグローバルな視点とタイムリーな情報をお届けします。

THE WALL STREET JOURNAL.

▼ビジネス

▼経済

ウォール・ストリート・ジャーナル・オンライン（WSJ.com）

世界各地に情報網を持つダウ・ジョーンズの記者から寄せられるビジネスや金融情報をリアルタイムで提供しているオンライン有料サイト。WSJ紙面に掲載される記事をオンライン用に編集し、24時間体制でアップデートしている。

日本版は、米国版WSJ.comに掲載される記事から、日本の読者に関係の深いニュースや解説記事、寄稿記事などを紹介している。「読みやすい日本語」に翻訳し、ウェブサイトの他にiPhone iPad Androidアプリなどでも利用できる。

ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）

1889年創刊。ニューズ・コーポレーションの子会社ダウ・ジョーンズ（米・ニューヨーク州）が発行。発行部数118万部、総読者数589万人を超える米国最大の日刊ビジネス紙。世界58カ国に支局を配置し、1400人ものジャーナリストを有する。これまでにピューリッツァー賞を39度受賞している。

勝毎電子版（http://kachimai.jp/）

十勝毎日新聞の掲載記事に加え、オリジナル記事やニュース速報、動画ニュース、過去記事データベース、防災情報など豊富な情報を提供している。また、とかち帯広空港などのライブカメラや勝毎ビジネス、農＋ビジネス北海道、大樹航空宇宙基地構想、北海道の山リポート・ギャラリーなど独自のコンテンツが充実している。iPhone、Android対応の勝毎電子版アプリでタブレットやスマートフォンにも対応。購読料は単独プランが2,571円（税込）、新聞購読者は新聞代金（2,571円）にプラス1,000円（税込）。

本件に関する問い合わせ先 / 株式会社 十勝毎日新聞社 デジタルメディア局（原口・国見）TEL 0155-22-2281 FAX 0155-22-2283